

ニタイ・トだより

問 487123332

生まれ変わった熊牛消防組の「龍吐水」を
ぜひご覧ください！

標茶町博物館に所蔵されていた明治時
代の木製の消防用放水ポンプ「龍吐水」。本
年度の広報しべちゃ1月号内のニタイ・

トからのお便りにて、その数奇な経歴と
ともに、釧路集治監の典獄(刑務所長)
であった大井上輝前氏の繋がりによって、
札幌市手稲区にある消防設備を取り扱う
二二商会さんより、無償で龍吐水を直した
いとの申し出をいただき、補修復元のため
昨年11月に札幌へと旅立ったことをお伝
えました。それから約1年が過ぎ、つい
に補修復元作業が完了。11月12日に標茶消
防署にて、受領式が執り行われました。20

人ほどの関係者が集まり、130年ぶりに龍
吐水からの放水を行いました。

全国的にも実際に使用できる龍吐水は極め
て少なく、標茶の集治監から脱走した脱獄囚
による放火の恐れに対して購入された龍吐水
は、標茶の歴史の一面を示す重要な資料でも
あります。将来的には、博物館隣の北海道集
治監釧路分監内に常設展不する予定ですが、
令和7年4月末までは標茶町博物館の1階フ
ウンジに設置し無料で見学できます。関連資
料や解説パネルも加えたミニ企画展となっ
ておりますので、どうぞご見学ください。



ニタイ・トからお知らせ

毎年行っていたニタイ・トのクリスマスコン
サートについて、本年度は開催の調整ができず、
やむを得ず中止としました。楽しみにしていた
皆さんには深くお詫び申し上げます。

